



休日は
のんびりと

まちを歩こう!

7月



このコーナーでは、筑波銀行エリアの季節のイベントや
おすすめスポットなどを紹介します。

東海まつり (東海村)

東海まつりは、新旧住民の交流を目的として1979年に始まりました。現在は東海四大まつりの一つとして、イベントやパレードが繰り広げられます。45回目の開催となる今年のテーマは『~つなぐ つなげる~笑顔でつながる場所 夏の思い出づくり』で、8月11日の花火大会の開催も決まりました。ご家族、ご友人と夏の思い出づくりにどうぞ。

日時：2023年7月23日(日) 14:00~20:00
会場：JR 東海駅東口前大通り

LuckyFes (ひたちなか市)

ROCK IN JAPAN FESTIVALの千葉移転を受け、「茨城のフェス文化の灯を消すな!」と昨年初開催された LuckyFes。「3年以内に日本3大フェスになる」を目標に、2年目となる今年は「茨城のフェス文化の灯をつなげ!」を合言葉に、更にパワーアップして開催されます。ぜひ一緒に、この夏の茨城を元気に盛り上げていきましょう。

期間：2023年7月15日(土) ~7月17日(月・祝)
会場：国営ひたち海浜公園 西ロエリア

大潮祭 (神栖市)

神栖市波崎地区の氏神である^{てごさき}手子后神社の祭祀として、旧暦の6月15日に近い土・日曜日に執り行われます。航海の安全や豊漁を祈る漁師たちの祭りであるこの日は、波崎の漁船は出漁を止め大漁旗を飾り、乗組員は神社に参拝します。初日夜の「宵宮」、2日目の祭礼当日ともに、神輿や鳴物も練り歩くみどころ満載のお祭りです。

日時：2023年7月29日(土)・30日(日)
会場：手子后神社

観光帆引き船操業 (かすみがうら市)

霞ヶ浦に浮かぶ真っ白い帆を広げた帆引き船を、随伴船に乗り、いろいろな角度から見学や写真撮影などをすることができます(要予約)。また例年12月には帆引き船フォトコンテストも開催されます。「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」は平成30年に国選択無形民俗文化財にも選定されています。風を受けて大きくふくらんだ真っ白な帆の、時代を超越する機能美と空と湖面の青色とのコントラストの美しさを、是非楽しんでください。

期間：7月下旬から11月下旬までの日曜日
会場：歩崎公園

おやまサマーフェスティバル (小山市)

田園環境都市小山のシンボルである「思川」を会場とした小山市最大のイベント「おやまサマーフェスティバル~おやまの花火~」が4年ぶりに通常開催され、約2万発の花火が小山の夜空を彩ります。また、今年から前夜祭が生まれ変わり、ステージイベントと出店広場を設けた「盆踊りマルシェ」が行われます。

日時：2023年7月29日(土)・30日(日)
会場：小山市役所西側駐車場(前夜祭)
観晃橋下流思川河畔(花火大会)

八坂神社祇園祭 (守谷市)

7月の最終土曜日に行われる八坂神社の祇園祭は、取手、水海道に並び北総三大祇園祭の一つとされ、守谷市の無形民俗文化財にも登録されています。大きな幟が19本立つことから「^{のぼりまつり}幟祭」とも呼ばれており、約5万人の人出で賑わいます。見どころは、人力で回転する山車、その舞台上で披露される馬鹿囃子と馬鹿踊りです。

日時：例年7月最終土曜日
場所：八坂神社

ふるさとまつり連合渡御 (下妻市)

「ふるさとまつり連合渡御」は下妻市の千代川地区を代表するお神輿9基、山車6基が一堂に会し、沿道を練り歩くお祭りで、各地区のお囃子、お神輿などの伝統文化を通して地域の活性化と各地区・世代を超えたコミュニケーションが生まれることを願って行われます。熱く活気ある雰囲気魅了されること間違いなしです。

日時：2023年7月29日(土)
会場：下妻市役所千代川庁舎前及び庁舎前通り

八坂神社祇園祭 (龍ヶ崎市)

八坂神社祇園祭は龍ヶ崎の鎮守様八坂神社の例大祭で、お神輿や剣山車、太鼓などの行列が氏子区域を3日かけて渡御します。最終日の夕刻には国選択無形民俗文化財「^{ついで}撞舞」の神事が奉納され、^{たつひ}通りは大勢の人で賑わいます。撞舞は、筒袖襦袢に裁着袴、雨蛙の被り物を身に着けた舞男が、高さ14mの柱の上で東西南北に矢を放ち、曲芸を演じます。

日時：例年7月下旬
会場：八坂神社、撞舞通り(根町)